

研究員紹介シリーズ 1

Hannu Kurunsaari

「リサイクルを通じた持続可能な都市づくり」について The Sustainable City through Recycling

私の主要な研究テーマは、持続可能な都市である。持続可能な都市は、芸術と環境を支えとした経済活動のもとに成立するため、経済的・社会的・環境的側面などの全てにおいて、研究を深めなければならない。



おおさかATCグリーンエコプラザにて

現在、私は、都市のリサイクル・セクターに注目し、研究を行っている。リサイクル事業は、雇用創出、原料の再利用、環境負担軽減などの点において、持続可能な都市の実現に多大な貢献をしていると考える。そして、多くの場合、ネットワーク事業の形を取る。ネットワークのメンバーでなければアクセスできない、様々な資源と組織能力(ケイパビリティ)がある。ネットワーク事業における個々のメンバーの目標は、社会的目標から純粋に財務的な成功に至るまで、幅広く、異なるかもしれない。ネットワークのメンバー内で、目的と価値創造のためのロジックが違う場合、ネットワークの継続のために大きな問題が生じるため、ガバナンスおよびコントロールの仕組みが必要になる。このような問題を念頭に置き、リサイクル・ショップのフランチャイズチェーンにおける、ネットワークの開発と維持のメカニズムについて調べた。その結果、わかってきたのは、上述したように、ネットワークのメンバーに様々なケイパビリティと資源—たとえば、ブランドネーム、知識、資金、修理サービス、学習機会—が与えられることである。

以上のように、私は、持続可能な都市を中心にしつつ、自動車のエコデザインを行う際のケイパビリティやバランススコアカード(BSC)の実行によるフィンランドの都市の経営実践改善に関心を持ち、研究を続けている。

■ ハンヌ・クルンサアリ (G-COE特別研究員)

The recycling sector has a big role in contributing to the sustainable city through creating jobs, reusing materials and reducing the environmental burden. Recycling enterprises often take a form of a network enterprise. In particular, the author investigates how recycle enterprises maintain and develop capabilities and share resources through the network.